

# 「リスクカルチャー診断」サービスのご案内

- 組織風土に潜むリスクを可視化

pwc

Interwired

## PwCあらた監査法人とインターワイヤード株式会社、 オンラインサーベイツールを共同開発

### はじめに

PwCあらた監査法人とインターワイヤード株式会社は、共同開発したオンラインサーベイツールを用いた新サービス「リスクカルチャー診断」の提供を開始します。本サービスでは、PwCのリスクカルチャー評価モデルをベースに、不正や不祥事の背景にある組織文化や職場風土のような「暗黙的課題」を可視化し、組織におけるリスク管理態勢高度化に向けた取り組みを支援します。

リスクカルチャーとは、リスク管理の動機づけ・奨励を行う組織文化をさしています。本サービスは、PwCグローバルの「リスクカルチャー診断モデル」をベースに調査設計を行うことにより、リスクマネジメントに係る組織的文化的な特質を多面的・体系的に把握し、対策を打つべきポイントおよび対象を明らかにすることを狙いとされています。

### サービス開発の背景

大量個人情報の漏えい、会計不正、食品の虚偽表示、パワーハラスメントと長時間労働など、近年発生する不祥事の背景には、組織文化や風土のような「見えにくい(暗黙的)課題」が存在することが指摘されています。しかし、この「見えにくい課題」は特定が難しく、また対応に時間を要する上にその効果の測定も難しいことから、継続的な取り組みとして企業に根付くことは稀といえます。今回提供を開始する「リスクカルチャー診断」は、この「見えにくい課題」を可視化し、企業における具体的取り組みを支援することを目的としています。

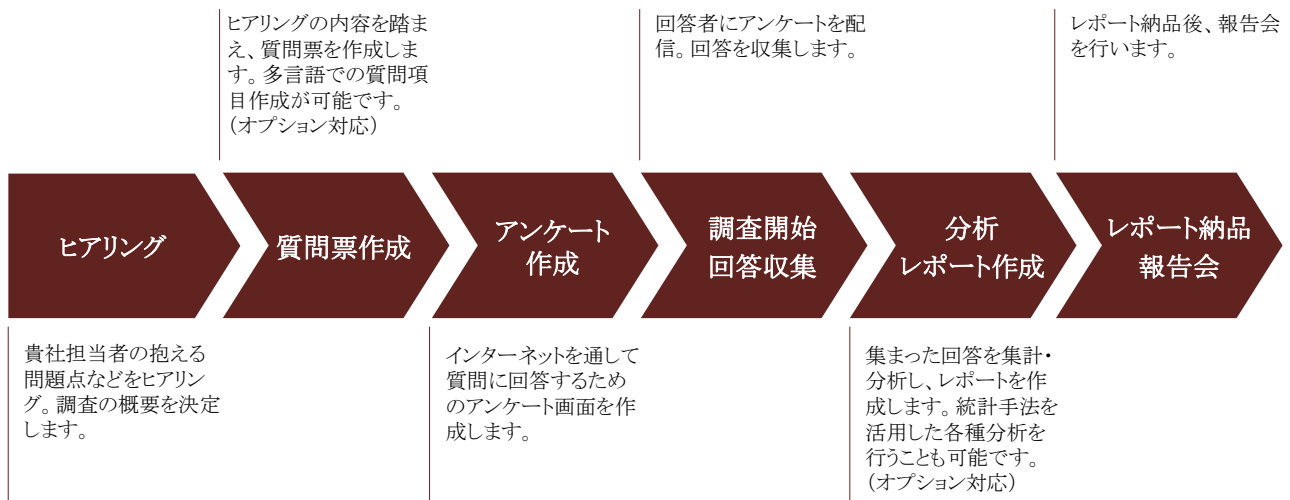
### サービス概要

- 役員および従業員を対象としたWebアンケート調査であり、迅速かつ正確に、高い秘匿性を持って、組織におけるリスク認識を把握することが可能
- PwCのリスクカルチャー診断モデル(4分野×3視点)をベースに質問項目を設定することにより、組織文化や風土のような「見えにくい課題」に対して体系的な状況把握を行い、対策すべきポイントおよび対象を明確化
- 調査の設計からレポート提出までの標準的期間は約1.5～2ヶ月
- 多言語での質問項目作成が可能(オプション対応)
- 重回帰分析など、統計手法を活用した各種分析を行うことも可能(オプション対応)

### リスクカルチャー診断モデル

組織内の効果的なリスクマネジメントを支えるカルチャーの主要な側面を分析するために、過去の経験や調査に基づいてPwCグローバルが開発したレームワーク





リスクカルチャー関連サービス

PwCあらた監査法人では、リスクカルチャー診断に加え、リスクカルチャー醸成に向けて以下のようなサービスを提供しています。

